

令和7年8月20日

苫小牧市
市長 金澤 俊 様

公益社団法人 日本オストミー協会
北海道支部 支部長 須佐 理恵子

日常生活用具給付等事業における排泄管理支援用具に関する要望書
給付基準額に関する見直しについて

私共日本オストミー協会（以下 JOA）北海道支部に対しまして、平素より温かいご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。特に障がい福祉課様には、私達協会会員はじめ人工肛門・人工膀胱（以下ストーマ）造設者（以下、オストメイト）が皆、日頃より大変お世話をいただいておりますことありがたく思いますと共に重ねてお礼申し上げます。昨年9月当協会より提出させていただきました「日常生活用具給付等事業における排泄管理支援用具に関する要望書」についても、内容をご検討の上、ご回答（令和6年11月22日付）を賜りましたこと改めて感謝いたします

当協会では、昨年8月に貴市に対して、「日常生活用具給付等事業における排泄管理支援用具に関する要望書」を提出させていただき、その後、ご回答（令和6年9月27日付）を賜り、2024年10月からの増額を知りました。様々な調整や手続きが必要とされる中でご対応いただいたものと大変感謝いたします。

変更された給付基準額については、要望した金額とは隔たりもあり、当協会としては、継続してご検討いただきたく、今年も引き続き要望書を提出させていただきます。実際、ストーマ装具の価格は年々値上がりしており、必要不可欠なストーマ用品の買い控えや、そのためにトラブルが生じるなどの話も聞こえてきます。私たちオストメイトとしては、貴市の予算上の問題をどのようにすれば解決でき、具体的に予算を増やすために私たちができることがあればぜひ協働していきたいと思っています。

そこで本年は近年値上げが続いているストーマ用品の価格の現状をよりご理解いただけるようご説明すると同時に、あらためて給付基準額について以下の通り要望致します。

記

要望項目：現行の給付基準額を増額していただきたい。

現行	消化器系ストーマ装具	8,900 円	⇒	希望金額	13,000 円
	尿路系ストーマ装具	11,700 円	⇒	希望金額	15,000 円

別添資料：ストーマに係る「歴史」「経緯」「現状」「要望内容」